

# 第155回 日本医学会シンポジウム

The Japanese Association of Medical Sciences Symposium

2019年6月29日(土) 13:00▶17:05

日本医師会館 大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
TEL: 03-3946-2121 (代) FAX: 03-3942-6517

入場無料  
事前登録制

- 13:00 開会の挨拶 門田 守人 (日本医学会長)
- 13:05 序論—概要と背景 中村 耕三 (東和病院院長)
- I 新しい概念と対策**  
座長 中村 耕三 (東和病院院長)
- 13:15 1. ロコモティブシンドロームの概念・定義・判定法  
大江 隆史 (NTT 東日本関東病院院長補佐/ロコモチャレンジ! 推進協議会委員長)
- 13:35 2. フレイルの概念と対策  
楽木 宏実 (大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学教授)
- 13:55 3. サルコペニア—現状と今後の展望  
荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター病院長)
- II 高齢者における諸問題**  
座長 大内 尉義 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長)
- 14:15 4. 高齢者筋萎縮・低栄養・嚥下障害の現状と課題  
出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科、大学院医学系研究科教授)
- 14:45 5. 高齢者認知症の現状と展望  
金丸 和富 (東京都健康長寿医療センター脳卒中科部長)
- III 概念間の相互関係**  
座長 鈴木 隆雄 (桜美林大学老年学総合研究所長/大学院教授)
- 15:15 6. 国立長寿医療研究センターにおける  
ロコモ・フレイル・サルコペニア等の相互関係: 病院コホート  
松井 康素 (国立長寿医療研究センターロコモフレイルセンター長)
- 15:45 7. 要介護運動器原因疾患 (ロコモ・フレイル・サルコペニア) の相互関係:  
住民コホートROADの追跡  
吉村 典子 (東京大学医学部附属病院22世紀医療センターロコモ予防学講座特任教授)
- 16:15 休憩
- 16:30 総合討論 司会 中村 耕三・大内 尉義・鈴木 隆雄
- 17:00 閉会の挨拶 門脇 孝 (日本医学会副会長)
- 17:05 終了

# 超高齢社会における 医療の取り組み

ロコモ・フレイル・サルコペニア

主催 日本医学会  
第155回日本医学会シンポジウム組織委員 中村 耕三・大内 尉義・鈴木 隆雄  
参加費 無料 出席者は討論に参加できます。

参加方法 <3方法> FAX送信・郵便はがき・日本医学会ホームページ登録  
(記入項目:氏名、住所、電話、参加者区分)  
氏名、住所等の個人情報は、入場券の送付に使用させていただきます。  
第三者に提供することはありません。

入場券 参加申し込み後、10日以内に本会より送付します。

締め切り 先着500名

問い合わせ先 日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内  
TEL: 03-3946-2121 (代) FAX: 03-3942-6517

URL <http://jams.med.or.jp/>



- JR山手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
- 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
- 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分



# 日本医学会

## 生涯教育制度 (但し関係者のみ)

参加者は、日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード19 (身体機能の低下) 2.5単位と、29 (認知機能の障害) 0.5単位と、49 (嚥下困難) 0.5単位の合計3.5単位取得できます。参加の際には、医籍登録番号、所属の都市区医師会名をご記入ください。